



「あなたのまちの“安全地帯”を再設計せよ」

— 高校生が主役となる防災インフラの設計 —

私たちが暮らすまちには、一見ふつうに見えても、災害時には危険になる場所がたくさんあります。例えば、狭い道、古い建物、人が集中する場所などは、地震や洪水のときに思わぬリスクを生むことがあります。

この競技会では、そうした「あなたのまちの危険な場所」に目を向け、高校生自身が主役となって、それを安全地帯とするための新しい防災インフラを考え、設計してもらいます。専門家ではなく、実際にそのまちで生活している高校生の皆さんだからこそ気づける危険や、日常の視点から生まれるアイデアがあります。

「もし自分がこのまちを守るならどうするか？」という視点で、未来のまちづくりに挑戦してみてください。

主催：日本大学土木設計競技実行委員会

共催：日本大学工学部土木工学科、日本大学理工学部土木工学科、日本大学生産工学部土木工学科

■ 応募資格

- 2026年4月現在、全国の高等学校、工業高校、高等専門学校に所属する生徒の個人またはグループとします。
- 1校から複数の個人及びグループの参加を認めます。※ただし1グループ最大4名までとします。

■ 応募方法

1. 参加申込み

- 締 切：8月28日（金）17:00まで
- 以下のフォームにて事前申込みを行ってください。※途中で辞退しても構いません。
〔事前申込フォームURL〕 <https://forms.gle/TQGacRX3Gz1A6R5n6>



2. 参加申込みに必要な情報

- ①チーム名
- ②代表者：氏名、所属（高校名・高校住所・科名・学年）、連絡先（代表者のメールアドレス）
- ③参加者：氏名、科名、学年（参加者全員分）

※複数の高校混成チームの場合は、参加者ごとの高校名も記載してください。

※事前申込みフォーム送信後に代表者のメールアドレスに確認と連絡事項が届きます。

3. 応募作品の提出

- 締 切：8月28日（金）18:00まで
- 事前申込フォーム送信後に送られた確認メールに記載の送信先へアップロードしてください。

■ 応募作品

1. 応募作品は、ポスター形式で作成してください。サイズはA1縦とし、100MB以下のPDFデータもしくはPNG画像データにしたものを提出してください。
2. 作品の表現は、模型写真、スケッチ、パース、CG等いずれを使用しても構いません。
チームの提案する内容が伝わるように作成してください。特に、現状を踏まえた上で提案作品との違いが分かるように表現してください。
3. 厳正なる審査を行いますので、ポスター表面には、応募高校、応募チーム名、応募者が特定できるような記載は避けてください。
4. 応募作品は、未発表の作品に限ります。
5. 応募作品の著作権は、応募者に帰属しますが、応募作品の利用に関する権利は、主催者が保有するものとします。

■ 審査委員

審査委員長：羽柴 秀樹 教授（理工学部／空間情報工学）
審査委員：朝岡 良浩 教授（工学部／水文・水資源工学）
佐藤 克己 教授（生産工学部／土木環境システム工学）
杉橋 直行 教授（生産工学部／建設材料工学）
重村 智 准教授（理工学部／地盤工学）
前島 拓 准教授（工学部／舗装工学）

注）審査委員は変更となる場合があります

■ 賞および副賞

- 〔最優秀賞〕 1点 団体用カップ・賞状および個人用トロフィ・賞状、図書券10万円
- 〔優秀賞〕 2点 団体用カップ・賞状および個人用トロフィ・賞状、図書券各チーム5万円
- 〔審査員特別賞〕 適宜 団体用賞状、個人用トロフィ・賞状、図書券各チーム2万円
- 〔入賞〕 適宜 個人用トロフィ・賞状、図書券各チーム2万円

■ 応募日程

7月 1日（水）～8月 28日（金） 事前申込受付期間（申込フォームの入力は8月28日 17：00まで）
7月 29日（水）～8月 28日（金） 応募作品提出期間（提出フォームの入力は8月28日 18：00まで）
9月 7日（月）1次審査 結果発表
10月 3日（土）2次審査 公開プレゼンテーションおよび表彰式

〔審査結果について〕

9月7日（月）までに入賞者の代表メールに連絡します。後日、土木工学科ホームページにも掲載されます。

〔公開プレゼンテーション（2次審査）および表彰式^(*)の開催について〕

開催方法：ハイブリッド開催。会場での対面参加とオンラインでの遠隔参加を組み合わせで開催します。

日 時：10月3日(土) 午後（集合時刻は12:00を予定）

場 所：日本大学理工学部駿河台校舎タワー・スコラ（東京都千代田区神田駿河台3-11-2）

※ 状況によって開催方法が変更になる場合があります

〔公開プレゼンテーション（2次審査）について〕

- 2名以内^{(*)2}で、パワーポイント、ポスター、模型などを利用して発表して下さい。
分かりやすく、迫力のあるプレゼンテーションを期待しております。
- 当日は審査委員から質疑がありますので、しっかりと答えてください。
- 発表時間及び終了予定時刻は、1次審査の発表とあわせてお知らせいたします。

(*)1 表彰式は、帰りの時間に配慮して行いますが、時間が無い場合には、後日賞状などを送付させていただきます。

(*)2 1次審査通過者で、公開プレゼンテーション（2次審査）に参加した場合、大学までの交通費を2名分（生徒と引率教員または生徒2名分）を日帰り相当旅費として、後日実費精算させていただきます。国内であればどこでも対象となります。

主 催 者 挨 拶

私たちが暮らす現代社会は、大地震や集中豪雨などに象徴されるように、いつどこで大きな災害が起きても不思議ではない、不確実な時代にあります。同時に、人口減少や地域コミュニティの希薄化、老朽化するインフラといった課題も重なり、「自分たちのまちは自分たちで守る」という視点がこれまで以上に求められます。

その“まち”を最もよく知っているのは、そこで日常を過ごしている高校生の皆さんです。通学路で感じるちょっとした不安、大勢の人が集まる場所での違和感、見慣れた風景の中に潜む危険。専門家の視点だけでは見落とされる、皆さんだから気づける大切なサインです。

本競技会は、高校生の皆さん一人ひとりを「未来のまちをつくる担い手」と位置づけ、身近な危険を“安全地帯”へと変える新しい防災インフラのアイデアを自由に描いてください。

「もし自分のまちを守るならどうするか？」

最先端のテクノロジーを使った大胆な発想も、日常のちょっとした工夫も、すべてが未来を変える力になります。

皆さんの柔軟な発想と行動力で、新しい“安全のかたち”を一緒に作り出してください！

たくさんの挑戦を待っています。



— 日大土木の歴史 —

日本大学の土木工学科は、1920年（大正9年）に日本大学高等工学校として設置され、私立大学では最も歴史のある大学です。

1923年の関東大震災の時に、第一期生の卒業生が震災復興で活躍し、「土木の日大」という名声を世に広めました。以後、歴史を刻み、6万人を超える卒業生を輩出し、公務員、公共法人、公共民間企業、コンサルタント、ゼネコン、専門建設、不動産、電気・ガス、運輸・通信、プラント、製造業と幅広い分野で卒業生が活躍しています。

2020年に土木工学科は創立100周年を迎え、新たなステージへ向かっています。

〈 第13回土木設計競技実行委員会 〉

実行委員長 〔生産工学部〕 秋葉 正一
実行委員 〔生産工学部〕 山口 晋、野口 博之
〔理工学部〕 関 文夫、佐藤 正己、三友 奈々、園部 雅史、東條 真士
〔工学部〕 川崎 洋輔、前島 拓

〈 問い合わせ・送付先 〉

日本大学土木設計競技実行委員会事務局

〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14

〔E-mail〕 cst.civil.compe@nihon-u.ac.jp 〔URL〕 <https://www.civil.cst.nihon-u.ac.jp>

※2022年4月からアドレスが変更となりました